

～「R1(令和元年)JAなのはな米品質向上運動」実施中～ なのはな米1等比率95%以上を継続!

水稻の生育は、田植え以降好天に恵まれ、平年を上回っています。
各圃場の生育状況を確認し、水管理を中心に栽培管理を適切に行いましょう。

1 中干し後の水管理

中干しを実施していない圃場は、**早急に中干し**を行いましょ。う。

- ・ 中干し後は、「**間断かん水**」を行い、幼穂形成期頃までに足跡の深さが3cm沈む程度のかたさに仕上げましょ。う。
- ・ 生育量が多い場合は、**過剰籾数**や倒伏を防ぐため、**強めの田干し**(落水期間を長く)しましょ。う。

2 てんたかくの穂肥

てんたかくの生育は、平年より**早ま**っています。
穂肥を施用する場合は遅れずに施用しましょ。う。

○てんたかくの穂肥の施用時期及び施用量の目安(※)

穂肥	施用時期	肥料名	10a 当り施用量
1回目	6/29～7/1頃 (注:幼穂長1～2mm を確認した頃)	追肥3号	10～12kg
2回目	1回目の10日後	追肥3号	12～13kg

※ 5月連休田植え・分施体系の場合
不明な点は、営農指導員や普及指導員にご相談ください。

3 草刈りの徹底

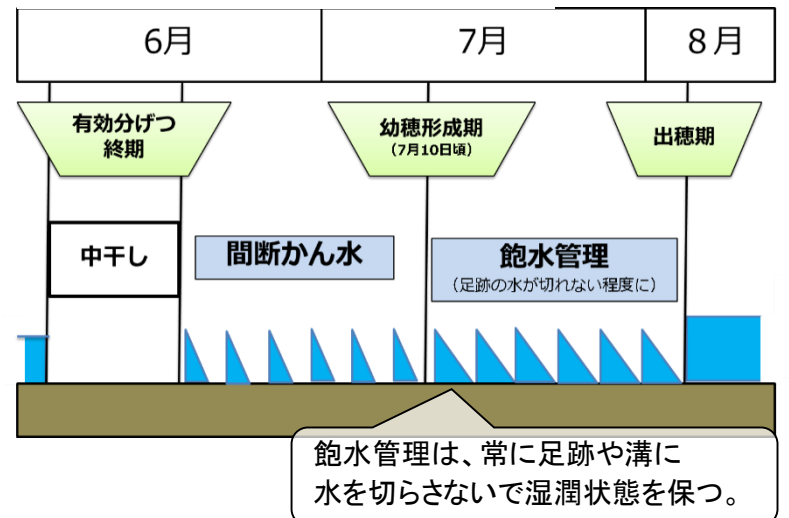
- ・ 畦畔等の雑草の穂は、カメムシ類の好適なエサとなるので**穂が出ないように草刈りを徹底**し、カメムシ類の発生量を少なくしましょ。う。
- ・ 本田内の**ノビエ**や**ホタルイ**は、アカスジカスミカメの産卵場所となりますので、除草に努めましょ。う。
- ・ 麦跡圃場は、積極的に大豆、園芸作物、緑肥等を栽培し、雑草が繁茂しないよう管理しましょ。う。
- ・ **草刈運動期間中に草刈りを実施**し、**地域全体でカメムシ類の発生源を減ら**しましょ。う。

草刈運動期間: 7月1日～10日
<一斉草刈日: 7月6日(土)～7日(日)>

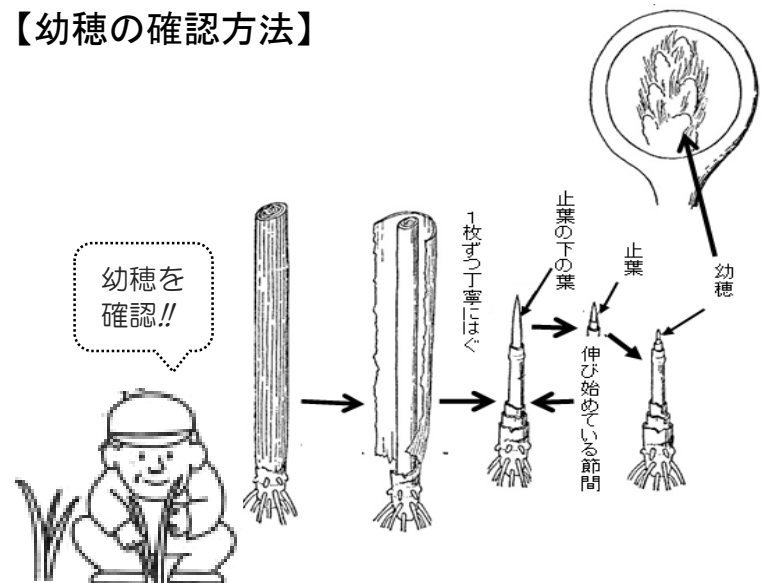
<草刈りの際は以下に注意>

- ★ 刈った草は、用排水路に流したり燃やしたりしないでください。また、草刈りで道路を汚したら、すみやかに片付けましょ。う。
- ★ 草刈機によるケガに十分注意し、草刈中、近くを人や車が通過する時は、小石等が飛散しないよう注意しましょ。う。

【水管理のイメージ(コシヒカリ)】



【幼穂の確認方法】



【斑点米と主な斑点米カメムシ類】



<主な斑点米カメムシ類>



アヒゲホリドカスミカメ



アカスジカスミカメ



クモカメムシ



トゲソウホカメムシ